



# 「オールしばた」でめざす 「健康長寿のまち しばた」の達成に向けて

受賞者

新発田市（新潟県）



## 背景・概要

新潟県新発田市は、脳血管疾患年齢調整死亡率が全国と比較して高く、昭和40年代から生活習慣病対策を医師会や関係機関、大学、地域と連携して健康づくりを推進。老若男女が「住みよいまち」と感じるよう、食育や健康づくり、介護予防の活動を進めるとともに、市民が主体的に取組に参画することにより、個人を社会全体で支える持続可能な仕組みの構築を目指している。

## 取組内容

●「オールしばた」でめざす「健康長寿のまち しばた」の達成に向けて 平成15年度には、市民の健康づくり気運を高める観点から、全市的なポピュレーションアプローチの担当部署として「めざせ100彩推進係」を設置。

市民公募により「めざせ100彩健康づくり推進実行委員会」を結成し、市民参画のもとでウォーキングや食育等のイベントを実施。平成21年度には「食の循環によるまちづくり推進計画」を策定し、幼稚園・保育園年長児で「一人でご飯が炊ける」、小学6年生で「一人で弁当を作れる」、中学3年生で「一人で小煮物(のっべ)が作れる」を具体的なめざす姿として食育事業を展開。介護予防においても、全国に先駆けて住民が主体的に地域の通いの場を運営するなど、各年代において特色ある取組を展開してきた。令和元年度には「健康長寿のまち しばた」をめざすため、市民や関係する団体など、さまざまな分野の人たちが参画し、「健康長寿アクティブラン」を策定、協働により健康長寿への取組を更に加速していくこととした。

